

和久町ハイキングコース

距離：約5km 所要時間：2時間 30分

今回は、和久農村集落センターから和久町の散策に出発します。和久町には、木食修行をした木食上人や徳川光圀の話し相手として仕えた後藤勘兵衛の逸話などが残されています。木食上人とは山田川の東側にあった慈照院の住職だった照海のことです。失火によって慈照院が消滅してしまったことに責任を感じ、修行を決意したと言われています。木食上人は、厳しい修行の末に景万山の絶壁で往生を遂げましたが、石標などから住民の間で信仰されていたことがわかります。歴史や当時の人々に思いを馳せながら、和久町をゆっくり歩いてみませんか。

5 胃神社



祭神は埴山姫命。元禄 10 (1697) 年に現在の集落センター付近から遷座した。境内には、東日本大震災後に東山から遷座した「雷神社」もある

2 和久堰



昭和 20 年代に完成した。約 10 町歩の田んぼを潤している

1 胃神社元宮跡



胃神社は、元禄 10 (1697) 年に光圀の命で現在の白山へと遷座した。集落センターの一角に祠がある



紹介してくれた地元の方々

至 市役所水府支所

4 子安地藏尊

バス停 高性地橋

ゲートボール場

介護施設

胃神社 5

アオサギ

山田川

和久橋

医院

バス停

3 石仏群

1 胃神社元宮跡

スタート・ゴール 和久農村集落センター

バス停

景万山 (景万バッケ)

梅の古木 6

7 木食上人照海の石標

6 梅の古木



光圀が植えたといわれています。光圀がこの地を訪れた際に立ち寄った後藤勘兵衛の家もこの付近にあったといわれています

4 子安地藏尊



安産・子育てにご利益がある。約 400 年の歴史があり、現在でも子どもが生まれるとこでお参りをしている

3 石仏群



「二十三夜塔」「湯殿山」と刻まれた石碑や如意輪観音像などがある



ミミガタテン ナンショウ

7 木食上人照海の石標



慈照院と景万山の絶壁 (景万バッケ) を一直線に結んだ参道沿いにある。安永 4 (1775) 年に建立されたもので「木食照海入定塚有」と刻まれている